

環境負荷低減のための「カゴメ プラスチック方針」を策定 日本初！紙容器飲料のプラスチックキャップに植物由来素材を採用

カゴメ株式会社(代表取締役社長:山口聡 本社:愛知県名古屋市)は、プラスチック問題による環境負荷の低減を目指して、「カゴメ プラスチック方針」を策定いたしました。具体的な目標として、2030年までに、紙容器飲料に添付しているプラスチックストローについて、石油から新たに作られるプラスチックの使用量ゼロを目指します。また飲料ペットボトルについて、2030年までに、リサイクル素材又は植物由来素材を50%以上使用することを目標といたします。

具体的な取り組みとして、まずは、紙容器飲料のプラスチックキャップを、2020年4月から、植物由来素材に切り替えます(変更①)。紙容器飲料のキャップに植物由来素材を使用するのは、日本では初めての取り組みです(※1)。また、紙容器飲料に添付しているプラスチックストローを、2020年4月から、植物由来素材を5%配合したものに切り替えます(変更②)。植物由来素材の配合率は、順次高めていく予定です。

(※1) 日本テトラパック株式会社調べ(2020年1月時点)

変更① 紙容器飲料のプラスチックキャップを、植物由来素材に切り替えます【日本初】。



2020年4月より順次

植物由来素材
(サトウキビ由来)の
キャップに切り替えます。

※ キャップの形が大きく変わることはありません。

※ キャップの色は、商品により異なります。

【対象商品】

カゴメ野菜生活 100 Smoothie 各種をはじめとした
キャップ付き紙容器飲料(330ml、250g)

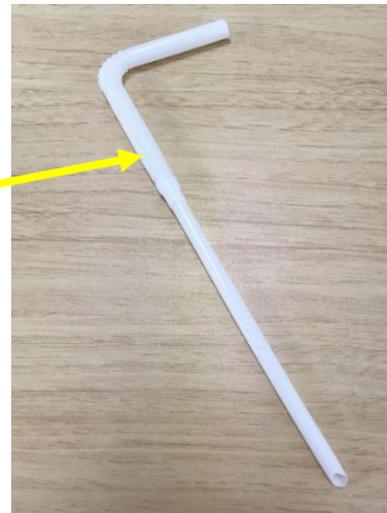
※他のキャップ付き紙容器飲料も順次切り替える予定。

※ カゴメ野菜生活 100 Smoothieシリーズの
キャップは、夏以降に変更予定。

変更② 紙容器のプラスチックストローを植物由来素材(サトウキビ由来)を
5%配合したものに切り替えます。



2020年4月より順次



※ストローの見た目に違いはありません。

【対象商品】

カゴメ野菜生活 100 各種をはじめとした紙容器飲料(200ml、195ml、125ml、100ml)

【本件のお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 鶴田、北川

TEL / 03-5623-8503 FAX / 03-5623-2334

カゴメ プラスチック方針

2020年1月制定

カゴメは「野菜の会社」として自然環境との共生をめざし、環境負荷の低減を目的に、以下の方針を掲げて、環境に配慮したプラスチックの利用に積極的に取り組んで参ります。

【1】商品容器における過剰なプラスチックの使用をなくし、使用量の削減を推進します。

(当社はこれまでも、ケチャップチューブボトルやペットボトルの軽量化を実施してきており、今後も継続してプラスチック削減に取り組めます。)

【2】石油から新たにつくられるプラスチックの使用を抑制し、資源循環が可能なリサイクル素材や植物由来素材への置き換えを進めます。その上で以下2点を目標とします。

- ① 紙容器飲料において、2030年までに、石油由来素材のストローの使用をゼロとし、資源循環可能な素材(植物由来素材や紙素材)へ置き換えます。
- ② 飲料ペットボトルにおいて、2030年までに、樹脂使用量全体の50%以上をリサイクル素材又は植物由来素材とします。

【3】プラスチックを含む排出物のリサイクルを推進し、工場におけるゼロエミッション*を継続して達成していきます。

(*当社は、排出物のリサイクル率が99%以上であることをゼロエミッションと定義しています)

【4】プラスチック容器の散乱防止(ポイ捨て防止)を啓発するため、全国の事業所による海岸や河川での環境美化活動を積極的に行います。

以上

【本件のお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 鶴田、北川

TEL / 03-5623-8503 FAX / 03-5623-2334